

CV護

まもる
護
護床・根固ブロック



CV護の特長

1. 従来の現場打ち根固めブロックと比較して、プレキャストコンクリート製品を現成型枠として現地に設置し、コンクリートを打設することで施工期間を大幅に短縮することが出来ます。
2. 1t・2t・3t・4tの規格に対応した護床・根固めブロックです。
3. ブロックの噛み合わせと、連結によって、一体構造となり流水に対し安定します。
4. 現場にて、植石を行えるので河川環境に調和することが可能です。
5. 河川内でコンクリート打設が困難な場合、ヤードでのブロック製作が可能です。
ブロック表面の突起あるいは植石をすることによって流水の減勢効果があります。

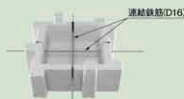
施工手順 (標準施工)

Aブロック (1t用)

① Aブロック据付



② 連結鉄筋設置



③ 中詰めコンクリート打設



④ 完成



Bブロック (2t用)

① Bブロック据付



② 連結鉄筋設置



③ 中詰めコンクリート打設

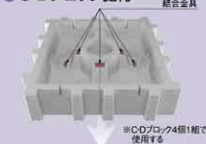


④ 完成



Cブロック (3t用)・Dブロック (4t用)

① C・Dブロック据付



② 連結鉄筋設置



③ 中詰めコンクリート打設



④ 完成



※中央部の穴には、
コンクリートを打設
しないでください

施工例

1t標準施工



施工中



完成後

2t標準施工



施工中



完成後

4tヤード製作施工



施工中



完成後

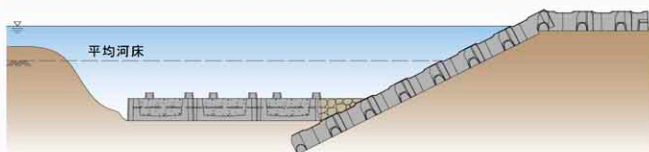


2t標準施工 橋梁下施工



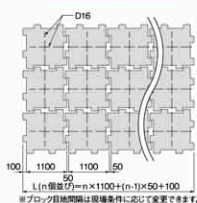
2t標準施工 植石施工

標準断面図

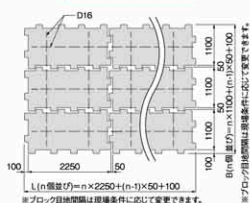


参考配置図

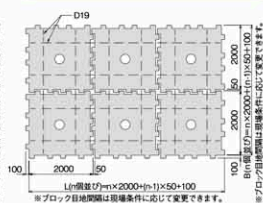
Aブロック(1t用)



Bブロック(2t用)

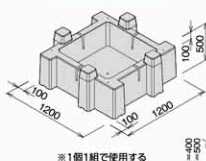
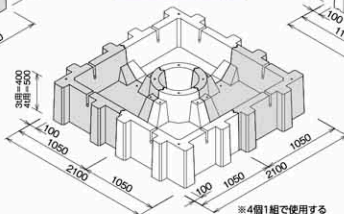


Cブロック(3t用)・Dブロック(4t用)

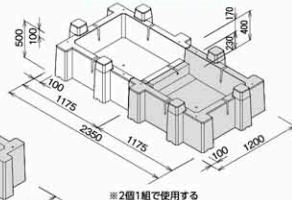


製品形状

Aブロック(1t用)

Cブロック(3t用)
Dブロック(4t用)

Bブロック(2t用)



歩掛表

■ブロック据付参考歩掛表^{※1}

(10組当り)

規格	CV置(個)	世話役(人)	特殊作業員(人)	普通作業員(人)	ラフドレーン クレーン25t(台)	諸雑費 ^{※2}
1t用	10	0.20	0.20	0.40	0.20	労務費×0.1%
2t用	20	0.40	0.40	0.80	0.40	
3t用・4t用	40	0.80	0.80	1.60	0.80	

■中詰めコンクリート投入打設・養生工参考歩掛表^{※1}(100m²当り)

生コンクリート(m ³)	世話役(人)	特殊作業員(人)	普通作業員(人)	ラフドレーン クレーン25t(台)	諸雑費 ^{※3}
101	1.60	2.90	4.80	2.30	労務費×3%

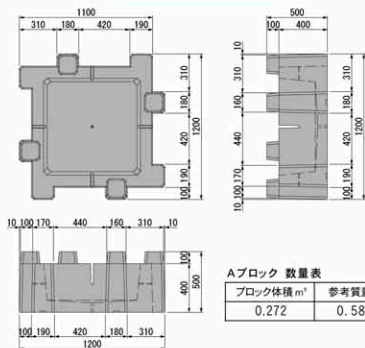
※1 歩掛は平成25年度国土交通省土木工事積算基準「消波根固めブロック工」によるブロック実質量2.5t以下/個に準拠

※2 諸雑費は、ブロックの据付、据付の作業に必要なワイヤーロープ等の費用

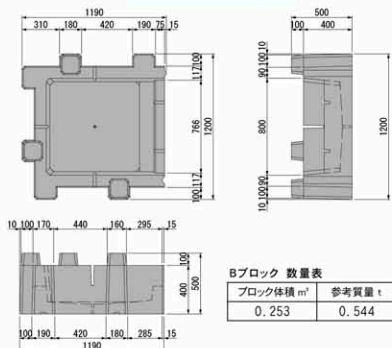
※3 諸雑費は、コンクリート投入打設に必要な小器材、養生シート及び電力に関する経費等の費用

単体図

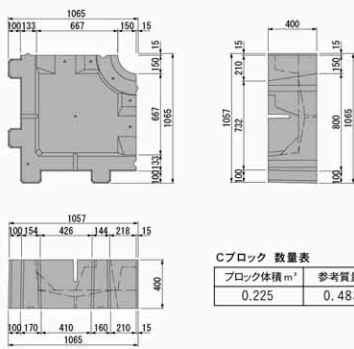
Aブロック(1t用)



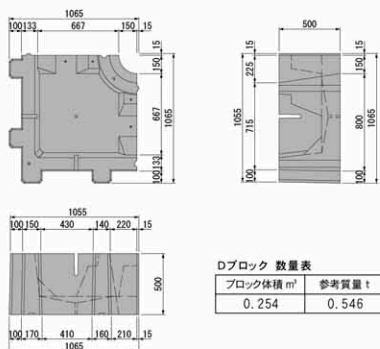
Bブロック(2t用)



Cブロック(3t用)



Dブロック(4t用)



規格	ブロック	参考質量 (t/個)	使用個数 (個)	価格 (円/組)	中詰コンクリート量 (m ³ /組)	中詰コンクリート質量 (t/個)	質量 (t/個)
0.5t	Aブロック	0.585	1		-	-	0.585
1.0t	Aブロック	0.585	1		0.181	0.416	1.001
2.0t	Bブロック	0.544	2		0.434	0.998	2.086
3.0t	Cブロック	0.483	4		0.580	1.334	3.27
4.0t	Dブロック	0.546	4		0.830	1.909	4.09

※Aブロックに中詰めコンクリートの充填を行わず製品単体で使用すれば、0.5t用の小型根固めブロックとしての使用が可能です。この場合、ブロックの噛み合わせ構造により湧水に対し抵抗します。